



音楽×環境「対バンやろうぜ!」

かんきょうデザインプロジェクトでは、若い世代の皆さんが写真・古着リメイク・廃材を素材としたスピーカー制作など、自分の作品を通して感情を充分に発露できる場をつくり、環境の課題に対するメッセージを発信する活動を行ってきました。

そしてもっと社会が環境の課題に向き合えるよう、新たに、音楽の持つ伝達力や共感力で環境に対する価値観の更新を試みるライブを企画しました。そこに、人間と野生生物の間の相互作用と、国境を越えて人とモノの移動の組み合わせによって引き起こされた新型コロナウイルス感染の拡大という環境問題が発生。

コロナ禍は新しい常識や常態が生まれることを示唆しました。自粛や規制が続く中、「正しく恐れることは本当に難しい」ことを痛感しながら、コロナ禍後を見据え、行動が制限される中でもできることに全力をあげて人々の意識や価値観を更新していくライブを開催することができました。

厳しい環境下にもかかわらず、出演者はじめ、ご来場者、活動の場を与えて頂いた横浜セブンスアベニュー様、当プログラムのコーディネーター川上真樹さん及びスタッフ、開催に向けてご支援くださった皆様に感謝を申し上げながら、活動レポートとさせていただきます。

かんきょうデザインプロジェクト
2020年9月15日

【概要】

タイトル 音楽×環境「対バンやろうぜ!」

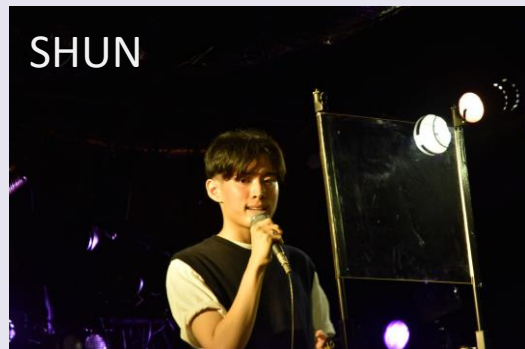
日時 2020年8月23日(日) 18時30分～19時50分

会場 横浜セブンスアベニュー 横浜市中区山下町252 B1 <https://www2.big.or.jp/~7th/>

出演者 SHUN / 碧 / Cato Evora (当初、10組の出演予定でしたが延期・再延期の末、3組での開催となりました)

入場料 高校生・大学生 500円、大人 1,000円 (+1ドリンク500円)

主催者 かんきょうデザインプロジェクト 横浜市中区山下町86-1-404 080-6665-4376



○ 音楽×環境「対バンやろうぜ!」 テーマソング 「Rebirth～感情再生」



ライブのエンディングで出演者全員がテーマソングを披露

作詞・作曲 川上真樹 編曲 川上真樹 / Cato Evora
歌 Cato Evora w./Friends 映像 立原祐希

壮大な楽曲に変えていくべき現実の映像もYouTubeをご覧ください

<https://www.youtube.com/channel/UCbMXsYUSFswyC-2dUvY5NCw>
検索 かんきょうデザインプロジェクト

○ 音楽×環境「対バンやろうぜ!」 コーディネーター

ネオ・トラディショナル・シンガー 川上真樹(かわかみ まさき)

邦楽から、Blues、Jazz、R&B、ROCKなどの洋楽までをひとつのLIVEで歌うネオ・トラディショナル・シンガーとして幅広い世代のファンから支持され、またヴォイストレーナー、ラジオパーソナリティなど幅広く活躍中！
独自のメソッドや熱いヒューマニズムが評判を集め、南條愛乃、相坂優歌、さくらしめじ、ベイビーレイズJAPAN等、数多くの次世代シンガー、アーティスト、声優、俳優、アイドル、歌手など多岐に渡りメジャーシーンで活躍する後輩を指導している。



<http://mackie-i-lands.co.jp/>

○ オフィシャルフォト撮影 & 提供 神奈川県立瀬谷高等学校 写真部



音楽を感じるように
地球を感じよう！

飲料カップは洗って使える
「リユースカップ」を導入



○ 来場者からいただいたメッセージ

コロナ禍で演奏活動ができない状況内での苦悩が感じられました。その分、先日のステージに思いを込められていましたね。今後、演奏活動ができることを願っております。

今回このコロナ渦におき、個々の練習や心構えもままならない状況で最終迄、残り出演して頂いた3組の方々全てが環境に対してのメッセージに加え、素晴らしいステージで客席で観ていて涙が出ました。ご来場のお客様方にも若い人からの環境に対するメッセージは歌やMCからすごく伝わったと思います。ある意味、通常のライブよりも、すごく意味のあるライブになったのではと思いました。ここまで、たどり着けたのは、結果少なくはなりましたが残って頂けた3組のアツい思いのお陰だと思っています。これからも、この環境ライブの趣旨も含め個々の音楽の世界への発信を楽しみにしています。本当に有難うございました。

皆さまのまっすぐな思いが歌を通じて伝わってきて、とても感動しました。
各演奏者に世界観があり、なんといっても歌唱力、演奏力が高く見ごたえがありました！
今回は音楽に「環境」というテーマが加わり、通常の演奏に少し深みが増している感じがしました。環境をテーマに、また新しい音楽を聞かせてください！

才能溢れる皆さんが、声も心も解き放ってくれている空間にいて、最高でした。
人が歌っている状態も、生の音楽も半年ぶりでした。
「碧」さん、私は貴方の歌詞、MCのひとこと、ひとことが、胸にささりました。
聴きながら、碧さんの歌も人生も開いていくことを、心から強く祈りました！
22歳の貴方の言葉が55歳に、つきささる、繋がる流れていく醍醐味がライブですね。
コロナ禍は私の年代以上の脳内筋肉のなさ、勇気の無さが、生み出した醜い心根の社会現状です。若い才能溢れる歌を聴かせていただきながら、本当に申し訳なく思いました。
歌から勇気をもらいました、と書いて何もしない人生にはしない。皆さんの歌から勇気をいただいて行動していきますね。

イベントやライブができない状態の中ですが、こうしてチャレンジすることはとても良いことかと思います。本当に良いものが理解される時代になったと思います。頑張ってください！

コロナ禍の中、活動も大変でしょうが、逆にこういった時期にこそ作れる名曲もあると思いますので、めげずに続けてください。

それぞれの思いを込めてステージに立った皆さんが心に残りました。もちろん環境問題を踏まえながら今の心境を偽るのではなく素直に出していたと思います。この時期にイベントをやる事自体が賛否両論あります。このイベントに参加した事が皆さんの音楽活動や生きていく事にプラスになっていくと思います。また皆さんの歌声が聴ける日を楽しみにしております。

はじめてライブを観ましたが、とても楽しく印象に残りました。また行きたいと思います。

どの出演者さんもそれぞれの色が出ていてとても楽しかったです。「SHUN」さんの歌声は静かにそっと心に入ってくるようだったし、「碧」さんの歌はとても感情が込められていてすごく好きでした。「Cato Evora」の皆さんはとても激しい演奏で空気を変えていて、楽しそうに演奏をしていて見るだけでも楽しかったです。

久しぶりにライブハウスに行けたので嬉しいです。コロナ禍が音楽従事者を苦しめてるのが悲しいですねー

生ライブができるようになってきています!ガンバレ!

今回、スタッフとして参加させて頂きました。このコロナ過、様々な葛藤があったかと思われますが、それぞれのイベントに向け決して意識を切らすことなく、環境問題への楽曲制作やイベント出演を最後まで決断頂いた皆様の熱量の高さにより、イベント開催が出来た事大変素晴らしいと思います。徹底した感染対策、来場者のマスク着用の徹底や、ステージ上での飛沫防止のパネルなど、今までのライブとは異なる光景の中、ブレることなく環境問題について話す、歌う姿に色々な思いを感じることが出来ました。これからも個々の活躍を期待するとともに、どこかでまた交わる事が出来ることを楽しみにしています。改めて素晴らしいイベント関わらせて頂いたことありがとうございます。

出演者の皆様、この度はご出演有難う御座いました。

こちらが開催すると言っても、皆さんから「出ません」と言われれば、先ずこのイベントは有り得ませんでした。

そんな中、日本がCOVID-19と共に生きる方針を取った以上、我々は協議に協議を重ね、最大限の、更にその上を行く感染症対策を施し、その思いや覚悟に報いるつもりで望みました。改めてご理解ご協力感謝申し上げます。

また僕は、若い世代の皆さんや、その周りのご親族やお友達が、このイベントを通じ、環境問題を調べてみたり、考えてみたり、日々感じてみたり、そんな興味を持っていただけただけでも、このイベントは成功と当初、思っておりました。つまり皆さんが出演してくれただけで成功と考えていたのです。

ですが、皆さんは僕の想像の上を行き、それぞれが環境問題へのメッセージを、声やメロディに乗せて、決しておちゃらける事なく立派に発信してくれました。音楽コーディネーターとして最高に嬉しい時間でした。

これからも表現者にとっては、まだまだ厳しい日々が続きそうですが、この新しい時代でのライブのカタチへ一歩踏み出せた事は皆さん同様に僕も、恐らく武松代表はじめ関係者全員も本当に勉強になり、今後の光となった筈です。またどこかで、この時代を生き抜く仲間として、お会い出来る日を心から楽しみにしています。

SHUN、碧、Cato Evora w/Friends、

君達が居なければ、このイベントはなかったんです。 感謝so much!!

川上真樹

「SHUN」さん・・・生バンドのバックで聴きたかった。

「碧」さん・・・強いメッセージが感じられて良かった

「Cato Evora」さん・・・特に2曲目、プリミティブなパワーが感じられてメッセージが伝わったと思った。

後援、助成先のご紹介



後援 神奈川県教育委員会 横浜市教育委員会



当活動は一般財団法人セブン-イレブン記念財団の環境市民活動助成を受けています。

○ 感染対策 (■ 主催者の取組 ▲ ライブハウスの取組)

1. ソーシャルディスタンスの確保、感染防止の取り組み

入場制限	入場者数 30名 ■
入場制限	事前申し込み制 ■
飛沫防止	着席スタイル ■
飛沫防止	ステージと客の間隔2m ▲
飛沫防止	身体的接触、大声の発生禁止、握手禁止 ▲
飛沫防止	レジ、飲み物提供カウンターにビニールカーテンの取り付け ▲
感染防止	来場者1名につき、マスク1枚とアルコール配合除菌ウェットティッシュ配布 ■
感染防止	入場時の非接触型体温測定 ▲■
感染防止	入場時の手指消毒剤設置及び利用の呼びかけ ▲
感染防止	スタッフ(かんきょうデザインプロジェクト)のフェイスシールド着用 ■
感染防止	来場者への感染防止依頼メッセージの発信 ■

2. 従業員及び来客等の保健衛生対策の徹底

感染防止	従業員及び来客等の手指消毒指導 ▲
感染防止	従業員及び来客等のマスク等着用 ▲
感染防止	回し飲みの注意喚起 → 1人1個のリユースカップを提供し、感染回避を図る ■
感染防止	従業員の体調管理、来客等の入場時体調チェック ▲
感染防止	消毒液の設置 ▲■

3. 共用物の衛生管理・換気の徹底

感染防止	病院の集中治療室で使われている医療用空気洗浄を2台設置 ▲
感染防止	楽屋に空気清浄機の設置及び密にならない楽屋の使い方を指導 ▲
感染防止	出演者入替え時の換気の実施 ▲
感染防止	出演者ごとにマイク風防を取り付け、風防は使い捨てとし、感染回避を図る ■
飛沫防止	マイクスタンドに透明プラスチック板を設置し、歌唱時の飛沫飛散を防止 ■
感染防止	客席、テーブル、利用設備・機材等への消毒 ▲

4. 会計時の非接触

感染防止	支払い時のコイントレイの使用 ▲
------	------------------

5. 感染が発生した際の利用者への情報提供

情報管理	入場時に氏名・連絡先を記入してもらい、主催者が10月末まで保管、後シュレッダー処理 ■
------	---

※ 横浜セブンスアベニューはライブハウス業界のガイドラインを遵守 → 8月7日 主催者が会場を訪問 確認済み